
課長と部長

莓大福

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

課長と部長

【Nコード】

N3094K

【作者名】

莓大福

【あらすじ】

2020年の近未来。

東京の新橋の居酒屋で「課長と部長」が愚痴を語り合う。その内容とはショッキングなものだった・・・

(前書き)

これを見て貴方はどう思われますか？
色々なご意見募集中です。

課長と部長

時代は2020年・ちょっと近未来の日本
東京新橋のとある居酒屋にて・・・

中小企業に勤める課長と部長は仕事帰りに
馴染みの居酒屋に入っていた。

「いらっしやいませ。お二人様ですか？どうぞ
こちらへ」

店員に連れられてカウンター席に案内される。

さっそく店員が注文を伺いに来る。

店員「ご注文はお決まりでしょうか？」

課長「じゃあ私は中ジョッキひとつ。」

部長「じゃあ私も中ジョッキひとつ。あとタラの芽の
てんぷらに、野菜サラダひとつもらえるかい？」

課長「あと刺身盛り合わせも追加ね。」

店員「かしこまりました。」

しばらくして注文したお酒と料理がカウンターに並んだ。

課長「じゃあ部長お疲れ様です」

ふたりはジョッキを軽く互いにぶつけ合い飲みほしていった。

部長「しかしあれだね・・・気が付いたら肉がまったくなくなったね・・・」

課長「えー。本当ですね。初めは鯨だけだったのに気が付いたら哺乳類の類は全部食べられなくなってきましたね。」

部長「だからあれだよ。結局ひとつの事素直に聞いたら、次々とあれも食うなこれも食うなって言ってくる訳だよ。かわいそうだ、かわいそうだってさ。おかげで牛も駄目。豚も駄目。あげくに鳥も駄目だよ」

課長「そうですね。アメリカやオーストラリアのいいなりになった結果ですよ。来年には日本もとうとうアメリカの州の一部になる事が決定されていますものの」

部長「どうしてこう日本人ってのは素直なんだろうね？昔の日本なんてのは強かったのに、大国相手に戦争やってたんだから。」

課長「たしかに。小学生の頃教科書で習いましたね。とても信じられませんでしたよ。日本だって空母を持っていたんですから。」

部長「まあ、その教科書も今じゃ歴史はアメリカの監修のもと作られている訳だし、日本独自の解釈も許されない、文部省も腰ぬけだよ。」

課長「そのうち魚も食うなって言い出すんではないでしょうか？絶滅するからなんとか言って？」

部長「冗談じゃないよ！そんな事言ったら人間が先に絶滅しちゃうよ。だって見てよ。この居酒屋のメニュー！魚と野菜しかおつまみないじゃん！10年前ならサイコロステーキや焼き鳥なんてどこの居酒屋行ったらって普通にあったんだよ。」

課長「あの頃が懐かしいですね？もう一度脂ののった焼肉が食べたいですよ。今じゃ焼肉屋なんて一軒もないですから。」

部長「本当だよ。このままじゃ強制的にベジタリアンにされちゃう。ひどい世の中になったな。」

その後1時間に及びふたりは愚痴を嘆き居酒屋を後にした。

…国と国が良好な関係を保つ為に、とにかく大国の言う事は小国が聞かないといけない。そういった風潮が現代ではすでに起きています。そう遠くない未来に、もしかしたらこの様な会話が普通に居酒屋でされているかもしれませんね。

注意…政治批判や愛国心を煽るものではございません。

娯楽として書かれていますのでご了承ください。

b y 苺大福

(後書き)

いつも読んでくれてありがとうー

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3094k/>

課長と部長

2010年10月18日02時14分発行